

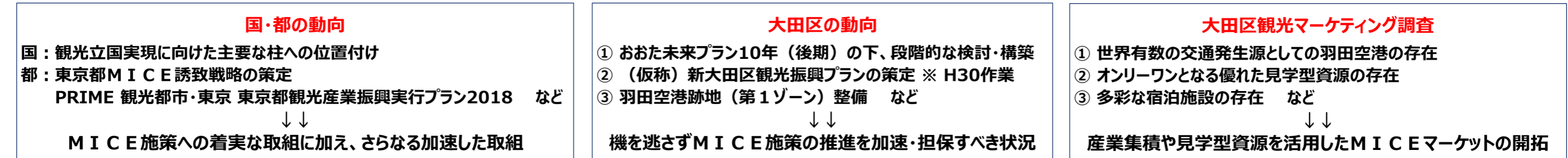
1 推進に向けた考え方

大田区らしいMICEの確立に向けて
～ 当面の取組の方向性等 ～

「取組の方向性」策定
(平成29年度末)

(仮称) 新大田区観光振興プラン策定
(平成30年度)

MICEの開催は、都市に高い経済波及効果をもたらす等、都市の競争力強化に資する → 「大田区らしい」MICEの推進 → より一層の区の成長・飛躍



2 取組の方向性の骨子

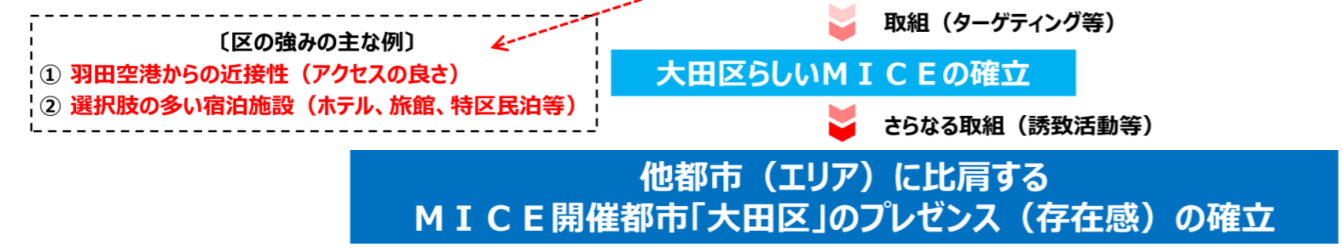
(1) 大田区が向かうべきMICE

大田区が向かうべきMICE（目標）を大田区らしいMICEに設定

< 方向性 > 羽田空港を起点に世界と日本を繋ぐMICE

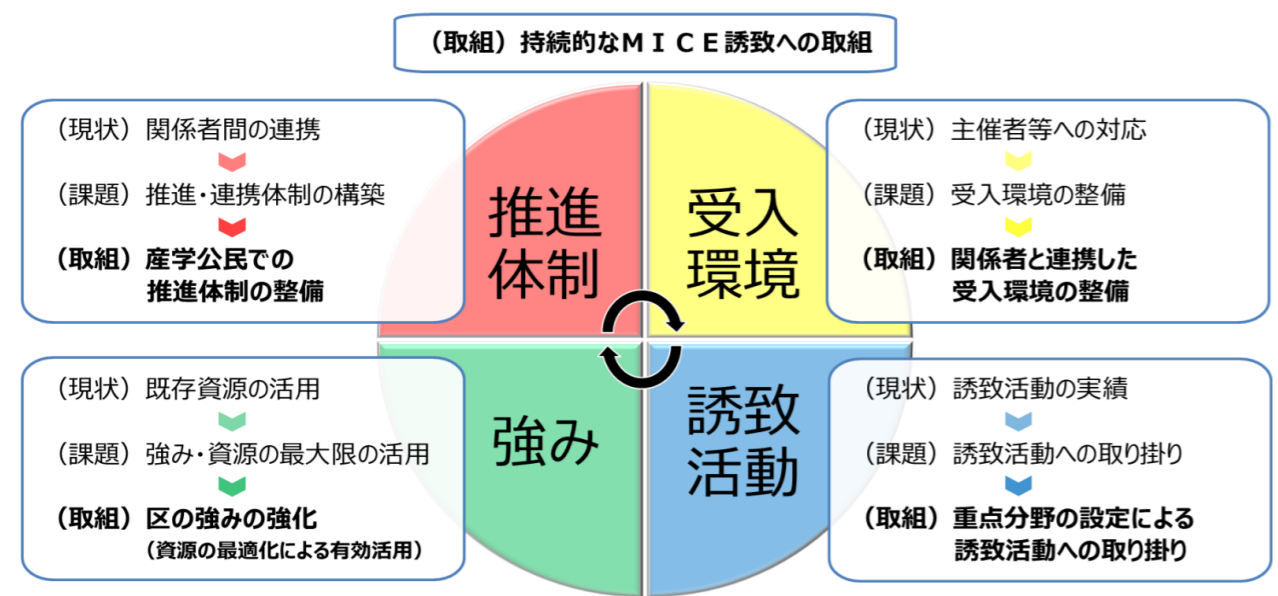
- 産業のまちとして地場・地域への還元・経済波及による好循環を生み出すべく
- また、国際都市おおたをビジネスしやすい都市とすべく
- 併せて、各拠点エリア「スクエア」が有機的に連携するまちとすべく

国家戦略特別区域に定められる大田区において、最大の強みである羽田空港を起点に、隣接する羽田空港跡地等の整備を踏まえ、オール大田による、関係者間（産学公民）の緊密な連携、区の文化・特色・理念、強み、資源を最大限に活かす仕組み、ターゲット、それによる誘致活動により、MICE先進都市（大規模施設を有する/機能集積型）とは異なるアプローチで、他の都市では担えない、世界と日本を繋ぐ「選ばれる」MICE開催都市を目指す。



(2) 現状 ⇒ 課題 ⇒ 取組の方向性

現状・課題・取組の方向性を推進体制、強み、受入環境、誘致活動の4区分で整理



3 特に留意すべき取組

- 産学公民での推進体制の整備 ▶ 発展的な推進体制を見据えた検討
 ⇒ 既存団体の活用、新たな団体の枠組み構築等の調査・比較・検討
 ⇒ 民間等主体のエリアマネジメント体制の実現
- 区の強みの強化（資源の最適化による有効活用）▶ 施設・インフラの活用
 ⇒ 設置・管理に関する条例、規則、要綱等の変更
 ⇒ 区立施設、道路、公園の使用条件（予約基準、使用料等）の緩和

4 今後の取組み(予定)

平成30年度における（予算措置した）取組み

① 大田区MICE推進会議 MICE誘致を組織的（産学公民連携）に推進するため、学識経験者、民間事業者等により構成される会議体を設置・運用する。	② 支援助成制度（モデル事業） <small>*予算外（4-1）</small> MICE誘致活動の一端として、会議等の開催に要する経費（会場借上げ費等）、観光体験・ツアー催行経費、特産品購入経費等を支援・助成する。
③ MICE勉強会 / 人材育成講座 MICE誘致に係る知識・専門性等を獲得するため、MICE推進会議メンバー等を対象とした勉強会（講演会等）を開催する。併せて、TCVBが主催する人材育成講座に参加する。	④ IME出展 コンベンション施設等のPR、MICEバイヤーとの具体的な情報交換等を目的に、MICE商談会であるIME（国際ミス・エキスポ）に、庁内関係各課等と連携し、出展する。

(2) 平成30年度におけるその他の資する取組み

管理職向け講演会

MICE施策を庁内一丸となり進めていくにあたり、まず施策の理解・認知等を進めることを目的に、管理職を対象とした講演会を開催する。

* 平成30年6月28日（木）開催済 *